

..... 編集後記

◆ 先月号に続き、地質情報研究部門の基礎的な地震の研究の紹介が特集されています。頼もしい表現もありました。もはや、中期的・短期的な地震予知はできないなどと申すでない、地震の研究者の中には、予知するための研究ではなく、地震が起きてしまったからの災害をいかに小さくするのかについて研究している人もいます。ところで、それ以外の多くの所外の地震研究者は、何の研究をしているのでしょうか。そのような方々は、このような雑誌には投稿してくれないのか、実態がなかなかよくわかりません。火山研究の場合は、編者は、長いつきあいがあるので、よくわかります。書きませんが。

◆ 本号では、地震を起こした断層を直接見たり、昔の地震の地下の痕跡を現在の地表で観察したり、地下の状態を再現して地震を起こさせる実験を試みたりといった方法で、地震発生のメカニズムを解明し、近い将来起こるであろう地震に当てはめて予知できるかどうかの挑戦が報告されています。願わくば、あとどれくらいで、どこまで進みそうかも示していただければ幸いです。話は全然違いますが、当つくば地方のみの関心事としての常磐新線の完成時期予測は、延ばされ延ばされ、ようやく来年秋に落ち着きそうです。

◆ 深さが2,000mの試錐で得られた堅い岩石が、地表に取り出されたときには、コイン状に薄く割れてしまっているのを最初に見たときには驚いたものです。普通に、地表地質調査をしている限りは、言葉にもしない、オウリョクカイホウなどという現象に直面したからです。もっと深いところで、穴を掘ったために起きる地震の現場写真は、見て恐ろしさを感じました。研究者はともかく、鉱山労働者の安全は充分にはかられているのでしょうか。編者は最近腰が痛くなるので、とても坑内労働などできませんが、そんな言い訳ができない場合はどうなるのでしょうか。

◆ 編者もまだ若かりしころ、元気はあるのだけれども技術も道具もないために地質調査に入れないう険しい沢を前にして、悔

しい思いをしたことがあります。最近の若い研究者は、知恵を出して、それを乗り越えています。編者は実は所内の安全衛生の仕事もしています。その業務の一環としても、御願いしましたところ、役に立つ原稿を書いていただきました。失敗例も記録に残してはどうかと何人かの人に尋ねましたが、そちらの方はどうも。

◆ 有珠山の2000年噴火の研究成果は、ほかの雑誌にもいろいろ出ていますが、一体あの噴火を起こした犯人であるマグマは今どこにあるのかという話の結論は、実はよくわかりません。噴火直後には、非常に浅いところまで上昇してきたと言われることが多かったのですが、その後さっぱり証拠が見つからないのです。浅いのであれば、マグマ掘削の絶好の機会であると思うのですが、誰も言い出しません。浅いところには実は上がってきていなかったと、考え直しているからかと勘ぐってしまうのですが、真実や如何に。

◆ 三松正夫という人物は、やはり相当の変わり者であったのではないかと思います。その仕事を引き継いだ人物も、失礼ながら、同類ではないかと編者は思っております。昭和新山の麓の記念館を同僚と訪れ、初対面であった三朗氏に、正夫氏が新山生成の観察をした郵便局は、現在どうなっているのか御尋ねしたところ、ていねいにその場所を教えていただき、皆で感動を味わうことができました。火山系博物館には、同業者として期待するところが大きく、それぞれの事情を順次紹介していただけることになりました。次は磐梯山噴火記念館です。

◆ 塔のへつり、懐かしいです。急な崖の下に細い歩道があります。でも、対岸は開けていて、鉄道も自動車道路も集落もあるのです。大分県の青ノ洞門でも、似た経験をしました。わざわざこんな険しいところに洞門掘らんでも、対岸には田んぼが開けているのにと。そんなことを考えてしまう俗人には、悲しい歌を読んだり、人に感動を与える小説は書けないのです。

(須藤 茂)

地質ニュース編集委員会

委員長：須藤 茂

副委員長：谷田部信郎

委員：高木哲一・丸山 正・中島 隆・

光畑裕司・飯笹幸吉

連絡先：地質調査総合センター 地質標本館

〒305-8567 茨城県つくば市東1-1-1

Tel. 029-861-3754

Fax. 029-861-3569

地質ニュースに関するご意見は編集委員会へ

地質ニュース	第597号	2004年	5月号
	定価¥785 (本体価格¥748)	〒実費	
2004年5月1日 発行	編集		
発行人	産業技術総合研究所 株式会社 実業公報社		
	代表者 林 光生		
発行所	株式会社 実業公報社 東京都千代田区九段北1の7の8 〒102-0073 Tel.(03)3265-0951 Fax.(03)3265-0952 E-mail:j-k@jitsugyo-koho.co.jp 振替口座 00110-6-32466 麹町局私書箱第21号		
印刷	株式会社 エアフォルク		

©2004 Geological Survey of Japan

●本誌は東京都の霞ヶ関政府刊行物サービスセンターに常備してあります。また、最寄りの書店でも注文できます。